DUNLOP NEXT CUP
FINAL ROUND

■開催日：11 月 5 日　■天候：晴れ / ＤＲＹ　■参加：26 台

堀尾風允がシリーズチャンピオンを獲得！皆木駿輔の猛追実らず !!

EXGEL 新東京シリーズ、ThreeBond 神戸シリーズとして東西で開催されてきたダンロップネクストカップ。各コースシリーズ、夏の瑞浪スペシャルイベントを終え、いよいよシリーズは最終戦を迎えた。この最終戦には、東西両シリーズの選手を始め､スポット参戦の選手も含めた 26 名が参加。全日本トップカテゴリーのシングルランカーや、SL 全国大会で名を馳せた選手など、各カテゴリーの強豪が集まった。

今回の最終戦は、シリーズチャンピオン争いと同時に、ダンロップの OK 用スペシャルコンパウンドタイヤのテストに参加できるスカラシップがかけられれた重要な一戦。審査員としてダンロップモータースポーツ部カート担当の大小瀬求氏、ダンロップ系トップチームのエクスプリット RTJ 高木虎之介代表、クロックプロモーション道上学代表が選手の走りを見守った。

注目のシリーズチャンピオン争いは、これまで特別イベントも含め全勝としている堀尾風允が圧倒的優位な立場で最終戦を迎えた。堀尾を逆転できる可能性を持っているのは、EXGEL 新東京シリーズをトップで終えた皆木駿輔のみだが、その皆木も逆転するには予選･決勝ともに 1 位を獲得するのが絶対条件。その上で、堀尾がノーポイント（有効ポイント適用のため決勝 5 位以下）にならなければならず、非常に厳しい条件だ。

前週までの 2 週連続の台風襲来も一段落し、今大会のレースウィークは土曜日こそ雨も降ったものの、決勝の日曜日は朝から澄み渡った青空が広がる秋らしい気候となり、まさに最終戦にふさわしい舞台が整った。

まず最初のタイムトライアルでは清水跳馬がトップタイム。エンジョイクラスの川福健太が 2 番手につけ、堀尾は 5 位、皆木はまさかの 8 位と出遅れる。

しかし予選ヒートに入ると、皆木がポジションを挽回。着実に前のカートをかわすと、トップまで浮上してチェッカー。まずは逆転へ望みを繋いだ。堀尾も 2 位に入ったものの、皆木から 5 位までが約 1 秒差と僅差。混戦となりやすい瑞浪では、まだまだ予断を許さない。

決勝では堀尾がホールショットを奪うも､すぐに皆木が逆転。皆木先頭のまま周回を重ねていく。後方は堀尾、星涼樹、親川謙心、狭間翔太らが連なり、ワンミスで大きく順位を落としかねない。さらに後方から川福も順位を上げ、トップグループに加わってくる。レース中盤、先頭は皆木、2 番手争いが親川と川福、単独 4 番手に堀尾、やや離れて狭間と続く展開となるが、終盤を迎えた 16 周目の 2 コーナーで親川と川福が接触。川福はコースアウトを喫し、大きく遅れることとなる。これで、堀

DUNLOP NEXT CUP　FINAL ROUND

尾が２番手に復帰。トップ皆木とは約２秒半の差があるものの、堀尾は４位以上に入ればよく、タイトルの流れは堀尾に大きく傾いた。

レースはそのまま皆木がトップでチェッカー。皆木としては、やらなければならないミッションは完璧に遂行したものの、タイトルには手が届かなかった。２位は堀尾が入り、シリーズチャンピオンを獲得。３位には狭間が今季初表彰台を獲得した。

チャンピオン＆スカラシップドライバー決定

シリーズチャンピオン
EXGEL 新東京 Sr. 皆木駿輔／ TreeBond 神戸 Sr. 堀尾風允

スカラシップクラス：全日本 FS125 参戦サポート：皆木駿輔
エンジョイクラス：台湾レース参戦サポート：川福健太

DUNLOP タイヤテスト参加：清水跳馬／堀尾風允

ENDLESS 86 実車オーディション参加：中村洋志／柳堀翔太

DUNLOP NEXT CUP FINAL ROUND

Pos.	No.	Driver	Team	Frame	Engine	Tire	Q.P.	Q.H.
1	⑤	皆木駿輔	K.SPEED WIN	Birel TIA	IAME REEDJET	DL SL9B	51.146 ⑨	①
2	㉕	堀尾風允	KR ファクトリー	Birel TIA	IAME REEDJET	DL SL9B	51.007 ⑤	②
3	㉖	狭間翔太	チームナガオ	Birel TIA	IAME REEDJET	DL SL9B	51.329 ⑯	⑩
4	㉑	清水跳馬	PEGTOP with KENT	Birel TIA	IAME REEDJET	DL SL9B	50.800 ①	③
5	⑰	星　涼樹	RT WORLD	Birel TIA	IAME REEDJET	DL SL9B	51.613 ⑳	⑧
6	㉗	親川謙心	TIGRE	Birel TIA	IAME REEDJET	DL SL9B	50.975 ④	④
7	⑩	環　優光	シューティングスター	Birel TIA	IAME REEDJET	DL SL9B	51.078 ⑦	⑥
8	㉜	津端剣心	チームナガオ	Birel TIA	IAME REEDJET	DL SL9B	51.174 ⑪	⑪
9	③	坂入悠斗	Racing Team YRHKS	Birel TIA	IAME REEDJET	DL SL9B	51.166 ⑩	⑨
10	⑭	中村洋司	チーム近藤レーシング with Nankai RT	Birel TIA	IAME REEDJET	DL SL9B	51.057 ⑥	⑱

J4 ジェイフォー

今大会では子供を対象とした新機軸、J4 も開催された。これは、カデット用シャシーにホンダ GX150 エンジン、ダンロップ SL-J タイヤを装着したマシンを用意、完全レンタルで行われるイベントで、今大会には７～９歳の 17 人が参加。２グループに別れ、フリー走行、３ヒート制の決勝レースが行われ、子どもが元気よく、カートを楽しんでいた。来年度は、この J4 も各地の会場で定期的に開催を予定している。